

(様式2)

【記入例】

教 育 研 究 業 績 書		
〇年 〇月 〇日		
氏名 札幌 太郎		
研究分野	研究内容のキーワード	
成人看護学	慢性疾患、セルフマネジメント	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 (1) 基礎学力の向上を目指した指導	令和〇年4月～ 令和〇年3月	〇〇大学〇〇学部1年生を対象とした講義(〇)において、〇や〇といった〇を学ぶ上で必要な〇を向上させるために、演習指導を行った。演習後には、次回の講義資料を渡すと共に、予習復習の重要性を強調した。学生は回を追うごとに〇の向上が見られ、〇効果は顕著であった。その結果、学生からの〇に関する評価は〇点(〇点満点)であった。加えて、本講義における総合評価は〇であった。
2 作成した教科書、教材 該当なし		
3 教育上の能力に関する大学等の評価 (1) 学生による授業評価 (〇〇概論)	令和〇年4月～ 令和〇年3月	〇〇大学〇〇学部1年生を対象とした講義(〇概論)において、学生から授業に対する評価アンケートを取った。その結果、(〇/5点満点)、内容のわかりやすさ(〇/5点満点)という評価を受けた。また、本講義における総合評価は〇であった。
4 実務の経験を有する者についての特記事項 (1) 高校への出張講義	令和〇年4月～ 令和〇年3月	〇高校1年生〇名を対象として、『〇〇〇〇』の講義を行った。
5 その他 (1) 〇〇大学〇〇学部での教育実績 ・ 〇〇演習	令和〇年4月～ 令和〇年3月	〇学部1年生を対象とした〇形式の講義。大学における〇ならびに〇を学ぶ上で必要不可欠な〇について、演習を通じて基礎を固め、実践的な理解を深めることを目標とした。
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許 該当なし		
2 特許等 該当なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		

(様式2)

【記入例】

(1) 企業との共同研究	令和○年4月～ 令和○年3月	○○株式会社 ○について○を用いた研究を共同で行った。		
4 その他 該当なし				
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 ○○ 2 3 :	共著	平成○年○月	(株)○○協会	第○章○節 「○症に対する○作用」 本書は○年○月より施行される制度に向けて、○について解説した。著者担当稿では○症を例に挙げ、○に関して基礎的な解説を行った。
(学術論文) 1 ○○ 2 3 :	単著	平成○年○月	○○会誌	○などの過程で○することが問題となっている。一方、○の数値は高いものの、国内への○は○である。本論文では○を目指して、○の影響について検討した。その結果、○をすることで○することが示唆された。 (共同研究につき本人担当部分抽出不可) 佐藤○○、高橋○○、札幌太郎
(その他) 1 (研究報告) (1) ○○ 2 3 :	単著	平成○年○月	公益財団法人○○報告	○にはほとんど見られない○である。○を減少させることが報告されているが、その他の○については明らかとなっていない。本研究では○を用いて○について検討した。その結果、○抑制させることが示唆された。これらの成果を報告書にまとめ、財団へ報告した。 札幌 太郎